



龍西だより



令和6年度 学校だより
第14号
令和6年11月14日
熊本市立龍田西小学校
校長 堀下 欣也

6年生 修学旅行より

11月6日(水)と7日(木)に、6年生が長崎へ修学旅行に行きました。私も一緒に同行しましたので、感想をお伝えします。

私が一番心に残ったのは、1日目の被爆体験者の方の講話です。講師は、森内 實(みのる)さん。現在87歳で、8歳の時の被爆体験を話されました。森内さんは、原稿なしで原爆が落とされた79年前の8月9日、その後数日間の様子をまるで先週あったことのように詳しく話されました。戦争や原爆によって家族や親戚の方々を全員亡くされ、自分に与えられた使命は、この経験を伝えることと言って、1時間たっぷり話をされました。私が特に印象に残った、森内さんの言葉をいくつか紹介します。

○小さい頃は、いつもお腹がすいていた。お米のご飯を食べたのは1年に2~3回。
履物もなく、いつもはだしだった。冬は寒かったが、1着の上着を毎日着て過ごしていた。

○「欲しがりません、勝つまでは」と言われ、国は“命も欲しがらな”と若い男性を兵隊として徴集した。

○原爆の熱線で、広島と長崎で約21万人が亡くなったが、それ以上に原爆落下後の放射能の被害が大きかった。

○現在、世界中に原爆が1万3千発ある。みんなが言葉で、戦争をやめ平和になるように訴えてほしい。自分たちで平和な世の中を作り、継続させてほしい。

○奇跡的に生き残った私は「原爆はダメ、戦争はダメ」と伝えるために生かされていると思っている。

被爆体験を語る語り部さんの年齢が高齢となり、今回のように貴重な生の声を聴くことができるのは、今後数年でしょう。6年生は、森内さんの話を最後までメモを取りながら熱心に聞き、講話後の質問もたくさん出ました。



講話や資料館見学、地元ボランティアガイドの方々と爆心地周辺のフィールドワークにより、1日目は充実した平和学習を行うことができました。全校で作った千羽鶴も資料館に納めました。2日目は、ハウステンボスで班別自由行動を行い、楽しく過ごしました。今回の修学旅行での学びを、6年生の今後の生活や生き方にプラスにしてくれることを期待しています。



楽しかった！ 4年生の伝承遊び体験

11月7日(木)に、5年ぶりに地域の方と一緒に、4年生が伝承遊び体験を行いました。西校区老人会を中心に30名の方が来校され、「お手玉」「あやとり」「竹とんぼ」「竹箸&箸入れ作り」を体育館で行いました。子どもたちは、あまり経験したことのない昔遊びやお箸づくりに夢中になりました。今の子どもたちの遊びの中心は、デジタル系ゲーム。体を使って遊ぶ楽しさを体験したようです。



【あやとり遊び】

伝承遊びの後は、地域の方と一緒にランチルームで一緒に給食を食べました。地域の方々も、子どもたちが喜んで遊んでくれたこと、楽しく一緒に会食できたことを喜んでいただきました。



【ランチルームで会食】



【完成した 竹箸&箸入れ】

